

けせん絆

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

優しさと信頼のある医療の実現



目次

備えよう！予防接種のお話

知ってますか？病気とお薬 脳梗塞

新任医師の紹介

認定看護師

TOPICS

お知らせ

備えよう！予防接種のお話し

皆様は、子供の頃に感染予防のためによく予防接種をしたと思います。今回は予防接種について、小児科の瀧向統括副院長に解説していただきました。

●予防接種とは何ですか？

病気にはいろいろな種類がありますが、細菌やウイルスによる感染症のなかには、予防接種で病気を防げるものがあります。予防接種を受けるより、自然に病気にかかったほうがよいという人もありますが、病気のために重い後遺症に苦しんだり、命を失くしたりすることもあります。予防接種で病気を予防することは、自分の健康を守るために大切なことです。



●予防接種の種類は？

予防接種には定期接種と任意接種があります。定められた期間内に接種する定期接種は、公費（無料）で実施されます。一方、任意接種は、ほとんどの場合、全額自己負担です。

定期ワクチンには、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、BCG、四種混合ワクチン、MR（麻疹、風疹）ワクチン、水痘ワクチン、日本脳炎ワクチン、高齢者用肺炎球菌ワクチン等があります。

任意ワクチンには、ムンプスワクチン、ロタウイルスワクチン、インフルエンザワクチン等があります。気仙地域では、ロタウイルスワクチンに対して、特別に公費助成があり、無料で受けることができます。このような制度があるのは、全国的にも少なく、大変恵まれた地域といえます。

●子どもの予防接種－生後2カ月でワクチンデビュー

意外に思われるかもしれませんが、世界からみて日本の予防接種制度は遅れていましたが、ここ数年でやっと追いついてきました。現在では、生後2カ月の早い時期からの接種が必要となっています。

下の表は、日本小児科学会が推奨する予防接種のスケジュールです。詳しくは日本小児科学会のホームページで閲覧できます。

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール 2014年10月1日版 日本小児科学会



ワクチン	種類	乳児期								幼児期					学童期／思春期											
		生後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月	12-15か月	16-17か月	18-23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上			
インフルエンザ菌b型(ヒブ)	不活化			①	②	③					④ (注1)															
肺炎球菌(PCV13)(注2)	不活化			①	②	③					④			(注2)												
B型肝炎(HEV)	ユニバーサル母子感染予防			①	②				③															①②③ (注3)		
ロタウイルス	1価			①	②					(注4)																
5価	生			①	②	③				(注5)																
四種混合(DPT-IPV)	不活化			①	②		③				④ (注6)						(7.5歳まで)									
三種混合(DPT)(注7)	不活化			①	②		③				④ (注6)						(7.5歳まで)									
ポリオ(IPV)(注7)	不活化			①	②		③				④ (注6)						(7.5歳まで)									
BCG	生						①																			
麻疹、風疹(MR)	生										①							② (注8)								
水痘	生										①		②		(注9)											
おたふくかぜ	生										①							② (注10)								
日本脳炎	不活化																①②③ (7.5歳まで)			④ 9-12歳						
インフルエンザ	不活化																							13歳より①		
二種混合(DT)	不活化																						11歳①	12歳		
ヒトパピローマウイルス(HPV)	不活化																						(注11)	小6	中1①②③(注12)	中2-高1

定期接種の推奨期間
 任意接種の推奨期間
 定期接種の接種可能な期間
 任意接種の接種可能な期間
 添付文書には記載されていないが、小児科学会として推奨する期間

●同時接種とは何ですか？

特に子どもでは予防接種の種類が多くなっており、一度に何種類かの予防接種を受けることが普通となってきました。同時接種といいますが、安全性については特に問題ありません。

●予防接種はどこで受ければ良いですか？

かかりつけ医で接種することが一番良いです。1歳未満の子ども、重い持病がある場合は、当院で接種できるものもありますので、ご相談下さい。

○脳梗塞ってどんな病気？

脳の血管に血栓(けっせん) (血液の固まり) が詰まることにより血流障害が起り、周囲の組織への酸素・栄養の供給が滞った結果、脳組織が壊死(えし)(細胞が死ぬこと)に陥る病気です。

○脳梗塞を早期発見するために

脳梗塞の前兆や兆候を見逃さずキャッチすることで早期発見・治療につながります。

前兆は多数ありますが、中でもわかりやすくチェックしやすいのはFASTテスト方法です

Face : 顔の麻痺	口角の片側が上がらなければ要注意。
Arm : 腕の麻痺	手のひらを上に向け、眼をつぶって肩の高さで腕をキープする腕が下がるようであれば要注意。
Speech : 言葉の障害	短い文章で、ろれつが回らず言葉がうまく発せられなければ要注意。
Time : 発症時刻	FASTテストに1つでも該当する場合はすぐ受診。

○脳梗塞になったらどうする？

脳梗塞治療は、いかに早く治療を始めるかが後遺症の有無にも関わってきます。上記のFASTテスト方法の「T」は「時間」です。脳梗塞治療は時間との闘いでもあります。「あら？おかしいな」と思ったら、ためらわずに受診することが大切です。

○どんなお薬があるの？

急性期(病気になってすぐ)は生じた血栓を溶かすため血栓溶解薬(注射)を主に使用します。慢性期(状態が安定し薬物治療を始める時期)は内服薬を中心に治療を始めます。

内服薬には大きく分けて抗(こう)凝固(ぎょうこ)薬(やく)と抗(こう)血小板(けっしょうばん)薬(やく)の2種類があります。

①抗凝固薬：ワーファリンなど

心臓の機能低下によって血栓が生じ、心臓で発生した血栓が脳の血管で詰まって生じた脳梗塞治療に使用します。ワーファリンを服用中はビタミンKやクロレラ食品の摂取により効果が低下するため摂取が制限されます。

②抗血小板薬：プラビックスなど

心臓以外で出来た血栓(動脈硬化・生活習慣病等が原因で発生)によって脳の血管が詰まって生じた脳梗塞に使用します。ワーファリンのような食品の制限・飲み合わせは少ないですがお薬が高いです。

上記の薬以外にも糖尿病、高血圧症、脂質異常症は脳梗塞の発症リスクが高まることもあるため、これらの病気についても治療が必要となってきます。



新任医師の紹介

平成27年4月より新たに着任した医師です。よろしくお願いします。



小児科医師
伊藤 潤



整形外科医師
佐伯 絵里



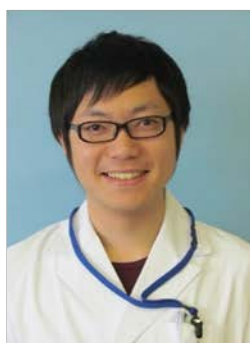
循環器医師
田中 健太郎



眼科長
西田 泰典



内科医師
山本 一成



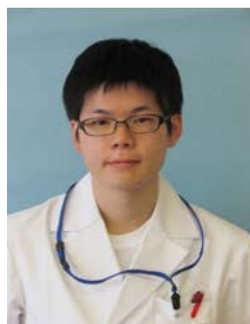
臨床研修医
石岡 秀基



臨床研修医
岡田 有加



臨床研修医
郷内 貴弘



臨床研修医
佐々木 登希夫



臨床研修医
豊島 浩志



臨床研修医
松浦 佑樹



臨床研修医
森岡 英美

認定看護師 透析



透析看護認定看護師の野中です。

健康診断でタンパク尿を指摘された方
腎臓の働きが弱っていると言われていた方
血糖値が高いと言われていた方
透析治療が必要であると言われていた方
お気軽に声をかけてください！

TOPICS

ふれあい看護体験が行われました

5月13～15日に高校生を対象とした『ふれあい看護体験』が行われました。大船渡高校・大船渡東高校・高田高校・遠野高校から総勢50名が参加しました。

参加した生徒さんたちは、清潔の援助・患者搬送や食事の配膳等を実施しました。看護体験を通じて生徒さんたちからは、「患者さんが笑顔で話していると自分も笑顔になれた。」「笑顔で働く看護師になりたい。」等といった感想がありました。

高校生たちにとって貴重な時間となったようです。



第8回気仙がんを学ぶ市民講座を開催しました

6月7日に第8回気仙がんを学ぶ市民講座を市総合福祉センターにて開催しました。

市民講座は、鹿児島大学病院血液膠原病内科の前川健一医師とその妻である真理さんを講師に迎え、前川医師自身の闘病体験を交えた「『がんを語る』患者として、医師として、家族として」をテーマに講演が行われなした。約100名の参加者は真剣な表情で、講演に聞き入っていました。

今後もがん市民講座を開催する予定です。詳細が分かり次第、お知らせしていきます。



糖尿病教室のお知らせ

当院では平成27年度も『楽しく学べる糖尿病教室』を開催いたします。糖尿病は自覚症状がなくても見えないところで進行が進んでいく病気です。参加費は無料です。現在糖尿病でない方も参加できますので、興味のある方はご参加下さい。

【開催スケジュール】

- ①平成27年7月22日（水）午前9時15分～10時15分
『食事療法について』
講師 管理栄養士 山崎久美子
- ②平成27年9月30日（水）午前9時15分～10時15分
『糖尿病の合併症：足の病気、尿たんぱくと腎臓の病気』
講師 看護師 菅崎由香、野中秀樹
- ③平成27年11月25日（水）午前11時15分～14時15分
『世界糖尿病デー・日本糖尿病週間記念イベント』
※要事前申し込み
- ④平成28年月27日（水）午前9時15分～10時15分
『糖尿病と目の病気』
講師：眼科医師（予定）

- 場所 大船渡病院 3階大会議室
- お問合せ先
Tel0192-26-1111（代表）
内科外来

がんサロン「よりどころ」からのお知らせ

よりどころでは、今年の7月よりミニ勉強会を開催しています。最初の15分間、よりどころのスタッフによる勉強会です。その後は、いつもの語り合いの場である「よりどころ」となります。

【ミニ勉強会のスケジュール】

- 8月8日（土）「認知症について」 講師：臨床心理士 橋階綾子
- 9月12日（土）「食事について」 講師：栄養管理士 木村久美子

「よりどころ」の詳細につきましては以下をご覧ください。

がん患者さん同士で支え合う

よりどころ

“よりどころ”とは？

がん患者さん同士が自由に自分の思いを語り合うことができる場所です。がん患者さんとご家族であればどなたでも参加が可能です。それぞれ病気の部位や年代や生活環境が違ったとしても共感できる思いはたくさんあります。話すことや聴いてもらうことで心が軽くなり、参加される皆さんが希望を持って生活できるように支え合う場としてご利用ください。

気仙で暮らす
がん患者さんとご家族が
語り合える場所



自分の思いを話してみたい

他の人の話をきいてみたい

参加する際のお約束とは？

- ① ここで聞いたことはここに置いていきましょう。
- ② 特定の健康食品や民間療法のことを話す場ではありません。
- ③ 宗教活動、政治活動は禁止です。
- ④ がんとの向き合い方はさまざまです。違う考え方だとしても批判せずに聴きあいましょう。
- ⑤ 話したくないことは話さなくて大丈夫です。

いつ、やっているの？

日時：第2土曜日 10時～12時
場所：大船渡病院内
2階パティオ（2階売店前）

お茶やお菓子をご用意しています。
ゆったりとした時間を仲間と一緒に過ごしてみませんか？



◎事前申し込みが必要となります。
◎参加費は無料です。

<○は診療日、△は特殊外来(完全予約制)>

階	No.	診療科	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	受付終了	特殊外来・その他	
1階	受付1	循環器科	午前	○	○ △心臓外科外来 (第1、第3、第5)	○	○ △ペースメーカー外来 (第2、第4)	○	11時00分	●再来は予約制です。 ●ペースメーカー外来⇒第2・4木曜日 ●心臓外科外来⇒第1・3・5火曜日	
		神経内科	午前	---	○	---	---	○※1	11時00分	●紹介患者及び予約診療 ※1 第1・3・5 金曜日 医師2人体制	
		血液内科	午前	○	○	○	○	---	11時00分		
	受付2	内科 消化器科	午前	○	○ △糖尿病外来 (第1、第3)	○ ○(糖尿病外来)	○	○	○	11時00分	●糖尿病外来⇒第1・3火曜日、毎週水曜日
		外科 (麻酔科)	午前	○	○	○	○	○ △血管外来 (第2、第4)	○	11時00分	●乳腺外来 第2・4火曜日 午後 ●血管外来 第2・4金曜日 10:30より診察 ●ストーマ外来 第3金曜日 午後 ●麻酔科は医師不在のため休診中です。
			午後	---	△乳腺外来 (第2、第4)	---	---	△ストーマ外来 (第3のみ)	---	---	
	緩和医療科	午前	---	○	○	---	---	---	11時00分	●診察は外科外来で行います。	
	受付3	小児科	午前	○	○	○ △心臓外来	○ △消化器内科外来	○	○	11時00分	●心臓外来 火曜日 午後 第3水曜日 午前 第2金曜日 午後 ●腎臓外来 第4木曜日 午後 ●内分泌外来 第3木曜日 午後 ●消化器内科外来 第1木曜日 午前 ●小児外科 第2金曜日 午後 ●血液外来 偶数月第3金曜日 午後
			午後	△予防接種 (要予約) 乳児健診 (要予約)	△心臓外来	△慢性疾患 △アレルギー外来	乳児検診 (要予約)	△腎臓外来 △内分泌外来	△小児外科 △血液外来 △アレルギー外来	△予防接種 (要予約) △心臓外来	金曜日の予防接種 は第1・3・4・5週の み実施します。
		整形外科	午前	○※2	---	○	○	○	○※2	11時00分	※2 月曜日・金曜日は初診・再診受付10:30まで
		呼吸器科	午前	○※3	○	○	○	○	○	11時00分	※3 ●当院医師による診察日 ・呼吸器科 月曜日、火曜日、木曜日の午前 ●応援医師による診察日 ・呼吸器科 岩手医科大学医師 水曜日、金曜日 ・呼吸器外科 岩手医科大学医師 毎週火曜日午前 県立中央病院医師 第3または第4水曜日午後 ・呼吸器内科 県立中央病院医師 第2木曜日午後
			午後	---	△呼吸器外科	△呼吸器外科	△呼吸器内科	---	---	---	---
受付4	脳神経外科	午前	○	○	○	○	○	○	11時00分		
	泌尿器科	午前	○※4	○※4	○	○※4	○※4	○※4	11時00分	※4 新患は11時30分から診察(水曜日以外) ・新患は紹介状が必要 ・再来は予約が必要	
	放射線科	午前	---	---	○	---	---	---	11時30分	●火曜日 予約新患	
午後		---	○	---	---	---	---	---	---	●水曜日 予約再来	
2階	受付5	産婦人科	午前	○	○	○	○	○	11時00分	●母親学級⇒金曜月2回 参加自由、無料です。	
			午後	△すくすく 助産外来	△助産外来	△すこやか 助産外来	△助産外来	母親学級 △すくすく 助産外来	---	---	
	耳鼻咽喉科	午前	○	---	---	△※5 (第1、第3、第5)	---	---	11時30分	※5 月曜日は毎週診察 木曜日は第1、第3、第5木曜日だけの診察	
	形成外科	午前	---	---	○	○	---	---	11時00分		
	受付6	精神科	午前	○	○	○	---	○	11時30分	●デイケア 火曜日 午前 水曜日 〃 金曜日 〃	
			午後	---	△ストレス外来	---	---	---	---	---	
眼科	午前	○	○	---	○※6	○	○	10時30分	※6 毎週木曜日午前と金曜日午後は完全予約制 ●火曜日、木曜日の午後診察は14時開始 ●平成27年10月1日より診療体制が変更となる可能性 がありますので、電話にてご確認のうえお越しください。		
	午後	---	○	---	○	○	○※6	13時～15時			
皮膚科	午前	○	○	---	---	○	○	11時00分			
階	No.	診療科	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	受付終了	特殊外来・その他	
		内科系新患日		循環器科	内科	内科	内科	循環器科			

- 【備考】 ①他病院へ診療応援、学会等で担当医師が不在になる場合や診療日が変更となる場合があります。
 ②薬の患者さんにつきましては、診察のうえお出しますのでご協力願います。
 ③診察待ち時間解消のため診療予約制を導入しておりますのでご利用ください。
 ④救急患者さんは、上記に関わらず随時、受付、診療いたしております。

当院の状況 | 診療活動報告

※数値は平成26年4月～5月の平均値による

○本院の状況

平均入院患者数 **320**人/日 月末病床利用率 **70.5%**
 平均外来患者数 **723**人/日 平均在院日数 **16.1**日

○救急センターの状況

救急患者数 **1,144**人/月
 救急搬送受入数 **207**人/月

